



さとみんの編集後記♪
暑かった夏も終わり、朝晩は涼しくなってきました。皆様お元気でいらっしゃいますか?コロナ感染者が急激に増えています、これからどうなるかと心配しましたが、このところ少し減少してきました。このまま終息してくれることを願うばかりです。夏休み期間を使って、プレ校で「夏の体験会」を開催致しましたところ、7月~9月に14名の見学があり、その後体験を経て、6名の方が入学されました。新しい受講生を迎えるやかなプレ校です。10月と11月はセミナーを開催します。ご参加をお待ちいたしております。



ユニカレさがは障害がある人が就労を通して幸せになれる支援を通してSDGsの達成に貢献します

ユニカレさがの約束



●目標4「質の高い教育をみんなに」

ターゲット 4.5「教育における障害者があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする」ために、年間40名以上の障害者への学習機会を提供します。



●目標8「働きがいも経済成長も」

ターゲット 8.5「障害者の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する」ために、年間10名以上の障害がある人それぞれに、ベストマッチの就労を実現します。



●目標10「人や国の不平等をなくそう」

ターゲット 10.2「障害に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する」ために、毎年5名以上の企業などへの一般就労を実現します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(持続可能な開発目標)
SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2030年までに世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくることを約束しました。そのための17の目標と169のターゲットが設定されています。



みなさまに支えられ、おかげさまでユニカレさがは、9年目を迎えました

Newsletter

Send from 障がい者ビジネススクールユニカレさが

発行元：障がい者ビジネススクールユニカレさが
発行月：2022年10月 発行責任者：角田さとみ

No.45

3ヶ月連続開催企画 いよいよ最終回 発達障害やメンタル不調がある高校生の 高校卒業後の進路の考え方



11/25(金) 18:00~19:00

11/26(土) 14:00~15:00

(内容は全回同じです)

各回10名 先着順

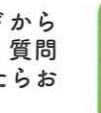
(お子様ご同伴、複数名でのご参加は可能です)



講師
公認心理士 大野博之

☎0952-20-1333

(9:00~17:00)



こちらのQRコードから
お申込み頂けます。質問
などがございましたらお
電話ください。

発達障害、メンタル不調がある方の準備は早い方がより効果的です。高校
1、2年生の保護者の方もご興味がある方はご参加下さい。学校、教育関係、
福祉関係の支援者の方でご興味のある方も参加可能です。



9月24日に開催されたセミナーの様子。



・中高生になると、療育の場所もなくもう手遅れだと思っていたけど、こういう場所があると分かって救われた思いです。

・子どもとの関わり方が分からなくて不安になっていましたが、家族だけで抱え込まずに、色々な福祉サービスを利用しながら訓練が出来ることが分かり安心しました。

・卒業後に利用できるサービスがあることが分かり、今後の目標設定がしやすくなりました。

高校1、2年生の保護者さまや医療・教育
関係の支援者様にもご参加頂きました。

■ 今日の本校の授業 ■

就職実践コース



ジョブスキル
トレーニング

就職基礎コース



質問力

「質問力を高める」をテーマに授業を行いました。良好な人間関係を築くための重要な基本スキルのひとつが『質問力』です。私たちは楽しい話してくれる人よりも、自分の話で一緒にになって楽しんでくれる人に好感を持ちます。そこで、質問で相手の話を盛り上げる力を高めるために『記者会見ゲーム』にチャレンジしました。まずはプレゼンターが短めの自己紹介を行い、インタビューが自己紹介の内容について質問をしていきました。一通り質問が出たあと、プレゼンターに最も良かった質問を発表してもらいました。質問される側を体験することによって、より質問力を高めてもううためです。授業後には「自分の新しい一面を知ってもらうことができて嬉しかった」や「みんなのことをもっと知りたい」などの感想があり、コミュニケーションの楽しさを実感できた授業でした。

■ 今日のプレ校の授業 ■

メンタルヘルス



ストレス
コーピング

生活学科



見通し立てる

ストレスへの対処法について学びました。心身共に健康的に生活し働くためには、上手くストレスと付き合っていく方法を身につけることが肝心です。ストレスに対しての対処法を知り、ストレス反応を和らげることを「ストレスコーピング」といいます。ストレッサー（ストレスを感じるものとなる環境や外部からの刺激）の種類や、人によっては思わぬものがストレスになる場合があること、自分が何にストレスを感じるのか正確に自覚することが重要だということを学んだ後に、実際にどのようなものがストレスになっているかを書き出しました。意見を出し合うことで、自分にとってはストレスでなくとも、他の人にはストレスになることがあるということに気づきました。コーピングには、問題焦点型（原因を解決することに重点を置く）と情動焦点型（感情の制御に重点を置く）の2種類があり、それぞれメリット・デメリットがあることや、効果的なコーピングの実践方法についても学び、ストレスに対する気晴らしの方法や対策をリストアップし発表しました。なんとなくやっていた対策を意識できるようになったり、他受講生の対策が参考になった受講生もいました！

9月上旬に台風11号、続いて14号と台風シーズン…台風の進路によっては、予定していたことを変更せざるを得なくなります。すると不安になったり、気持ちがもやもやしますね。そこで、余裕ある計画をたて、時間を見積もることを考えました。まずは朝起きてすぐから、家を出るまでのタイムログを記録してもらいました。朝起きてすぐにお布団から出れる人と、出れない人。多くの方は、家を出るまでに平均1時間半前後の時間がかかり、2、3名が30分前後でバタバタと準備をして家を出ていました(--)。現実に、実際に何分かかるかを把握して自分の時間を見直すことに取り組みました。まずは朝の時間、早起きして、朝食をしっかり食べて、髪型と服がばつちり決まればそれだけで良い1日を送ることができます。分かつてはいるけど…なかなか余裕のない朝の時間、意識していましょうね☆

祝 続々就労決定

就労継続支援 A型・B型事業所への就労が決まりました

アヤトリ工様

Yさんは、プレコースを2年利用されました。コミュニケーションや SST の授業にも意欲的に取り組まれました。個別課題として、時間の管理や体調管理に取り組まれ、スキルアップを目指されました。野球やゲームが好きな Yさんは、ユニタイムの時間の活動内容について、率先して活動内容の提案をされるなど、リーダーシップを発揮されました。手先が器用で、どんな作業にも丁寧に取り組まれる Yさんは、実習を経て、ご自身のスキルを活かせるアヤトリ工様での就労を選ばれました。余暇活動も楽しみながら仕事も頑張ってほしいと思います。



細かい作業も器用にこなされる Yさん。

ライフデザイン様

Aさんは、プレコースを1年利用されました。来所する日や時間には必ず来所され、コミュニケーションやアンガーマネジメントやマナーなど様々なプログラムに取り組まれました。昼食後には職員と一緒に毎日個別課題に取り組まれ、コミュニケーションのスキルアップに取り組まれました。元々、清掃関係の仕事の経験があったことや、ほとんど毎日徒歩で通所されており体力もあったことから、ご自身の得意やスキルを活かすことが出来るライフデザイン様での就労を選ばれました。今後も体に気をつけて頑張ってほしいと思います。



清掃作業だけでなく、内職作業にも丁寧に取り組まれる Aさん。

就労継続支援事業所アヤトリエ

唐揚げ弁当販売

唐揚げの、一つ一つが大きく、外はカリッと中はジューシー。揚げたてにこだわり、味も何度も試行錯誤を繰り返してきたかいもありお昼はたくさんのお客様にご来店していただいております。この、東京の唐揚げ専門店での修行で学んだ5種類の唐揚げをぜひご堪能下さい。

◆唐揚げ
うまがもん



受注作業(内職)

作業内容によって、テーブル席や和室など班に分かれ分担して取り組んでいます。みんなの中で作業するのが苦手一人で作業したい時などは個室もあります。

就労継続支援 A型事業所ライフデザイン

働きながら一般就労を目指します。

PCを使用してデザインしたり、EC事業、アパート・ビルの清掃業務、製造業務等を通して様々なスキルを身に着けながら働くことができます。スタッフとともに二人三脚で生活や業務上の支援を受けながら、雇用契約を結んで働くことができる職場です。心身のコンディションや人間関係や周囲の環境により、一般企業で働くことに不安や困難を感じている方が対象です。支援を受けながら仕事をすることで、就労に必要なスキルを身に付けることができます。将来的には一般企業を含む就職を目指します。社会福祉士、介護福祉士等の資格を持つスタッフが、仕事や生活での不安や悩みなどを相談、生活全般をサポートします。

